

2020 年度 第 2 回
言語コミュニケーション・フォーラム

2021 年 2 月 13 日（土）13 時～
オンライン開催

プログラム

Zoom アカウント①

開会の辞（13:00－13:05）言語コミュニケーション文化学会会長 上田和彦

Zoom アカウント①（第 1 室）

研究発表（13:15－16:45 発表 25 分・質疑応答 5 分）

(1) 13:15－13:45 司会（河嶋ひかり）

会話における友人同士の対立に見られる配慮と親しさ
—優劣のつく話題における「褒め－褒めの受諾－非難」の連鎖に着目して—

西阪 亮

(2) 13:50－14:20 司会（河嶋ひかり）

日本語を母語とする大学生に対するイラスト付き接辞を活用した語彙指導の効果

野原万里

(3) 14:25－14:55 司会（河嶋ひかり）

第二言語の読解と偶発的語彙学習におけるプレリーディング活動とテキストタイプの効果

橋本洋子

(4) 15:00－15:30 司会（吉田眞三）

話し合いにおける参加者間の「チーム化」
—提案に対して否定的な意見がなされた後のやりとりに着目して—

馮 佳誉

（休憩 10 分）

(5) 15:40－16:10 司会（吉田眞三）

学習者はどのようにグループワークを組織していくのか
—反転授業クラスのタスク活動を例に—

手塚まゆ子

(6) 16:15－16:45 司会（吉田眞三）

なぜ「ありがとう」の前に「すみません」を挿入するのか
—日本語における謝罪と感謝の併用事例の分析—

岸本健太

Zoom アカウント② ((第 2 室))

研究発表 (13:15－15:30 発表 25 分・質疑応答 5 分)

(1) 13:15－13:45 司会 (小田原多万美)

ピッチ変化に関する顕在的知識の言語非選択的活性化に与える影響の検討

尹 璟

(2) 13:50－14:20 司会 (小田原多万美)

職場における非関西方言話者の中間方言に対する印象

—大阪に勤務する関西方言話者を対象にした Web 調査から—

吉井雄樹

(3) 14:25－14:55 司会 (小田原多万美)

接触場面における日本語母語話者から始まる修復

齋藤里佳

(4) 15:00－15:30 司会 (小田原多万美)

文中に現れるマイナス表現形式の様相—構文文法理論と語用論的標識からの解釈—

和田亜矢子

Zoom アカウント①

臨時総会 (16:45－17:00)

閉会の辞 (17:00－17:10) 言語コミュニケーション文化学会運営委員長 茨木正志郎

<注意事項>

- ・発表中は音声をミュートにしてください。質疑応答で発言が許可された場合は、ミュートを解除し、氏名と所属を述べてから質問をしてください。
- ・録画録音、Zoom ID の無断共有は禁止させていただきます。